

## 豊田PCB廃棄物処理事業の状況報告について

## 1 豊田PCB廃棄物処理事業の処理実績

## (1) 豊田PCB廃棄物処理施設での処理実績

(表-1) PCB廃棄物の処理量(中間処理完了ベース)

令和元年12月末現在

	(注1) 変圧器類 (台)				(注2) コンデンサー類 (台)				(注3) 廃PCB (本)	保管容器 (箱)	純PCB 処理量 (トン)
	大型	小型	車載	合計	健全品	処理手間物	小型機器 (10kg未満)	合計			
H17年度合計 (試運転物含む)	8	33	8	49	1,185	0	0	1,185	33	0	31.5
H18年度合計	19	55	3	77	1,592	13	0	1,605	1	0	63.7
H19年度合計	26	146	19	191	2,227	62	0	2,289	15	0	115.8
H20年度合計	36	242	26	304	3,743	93	0	3,836	30	0	186.5
H21年度合計	40	221	25	286	4,616	137	0	4,753	47	2	199.4
H22年度合計	33	135	19	187	3,528	242	0	3,770	56	10	159.9
H23年度合計	33	85	24	142	3,658	252	0	3,910	28	10	144.1
H24年度合計	40	147	33	220	4,923	203	0	5,126	64	17	217.9
H25年度合計	52	100	49	201	5,778	127	66	5,971	123	23	207.5
H26年度合計	41	50	57	148	4,798	1,031	44	5,873	22	197	214.3
H27年度合計	26	17	61	104	4,405	1,292	487	6,184	27	381	190.6
H28年度合計	27	17	58	102	4,392	825	2,103	7,320	93	396	165.9
H29年度合計	14	17	65	96	3,846	1,096	3,462	8,404	99	450	171.3
H30年度合計	15	29	64	108	2,271	601	4,073	6,945	323	432	112.7
H31年4月	3	9	4	16	317	71	593	981	28	70	11.2
R元年5月	5	1	6	12	142	73	664	879	34	103	8.9
R元年6月	15	0	6	21	63	10	207	280	8	3	1.8
R元年7月	6	0	2	8	55	16	297	368	38	78	10.0
R元年8月	12	8	8	28	296	35	690	1,021	28	82	14.8
R元年9月	0	2	7	9	234	32	191	457	41	32	13.9
R元年10月	0	2	11	13	29	65	526	620	16	43	2.2
R元年11月	0	0	2	2	0	0	0	0	12	6	0.0
R元年12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
R2年1月											
R2年2月											
R2年3月											
R元年度合計	41	22	46	109	1,136	302	3,168	4,606	205	417	62.9
合計	451	1,316	(注4) 557	2,324	(※1) 52,098	(※1) 6,276	13,403	(注4) 71,777	1,166	(注4) 2,335	2,243.9

(注1) : 変圧器類とは、変圧器、変流器、リアクトル等を含む。大型変圧器とは重量が1.62 t を超えるもの又は小型トランス解体ラインでは処理できないもの。

(注2) : 健全品コンデンサーは連結コンデンサー、サージアブソーバーを含む。処理手間物は、寸法外・海外製・漏洩品のコンデンサー。

(※1) 大阪事業エリアのPPコンデンサー5,009台(健全品4,587台、処理手間物422台)を含む。

(注3) : 廃PCBとはドラム缶、ペール缶や試薬ビンに入った廃PCB油

(注4) : 他事業所に搬出し処理した車載変圧器158台、炭化コンデンサー120台とその保管容器76箱は除く。

## (2)PCB廃棄物の受入状況

豊田PCB処理事業所の操業開始後、令和元年12月末までのPCB廃棄物の受入実績(試運転含む)は、変圧器類2,297台、コンデンサー類74,220台(PPコンデンサー5,009台含む。)、廃PCB油が1,404本、保管容器2,335箱です。

(表-2) PCB廃棄物の受入状況(受入ベース)

※令和元年12月末現在

	変圧器類(台)			コンデンサー類(台)	廃PCB		保管容器(箱)
	大型	小型	車載		(本)	(kg)	
試運転時 H17年6～8月	1台	5台	8台	588台	33本	7,330kg	—
操業時 H17年9月～							
H17年度合計	11台	42台	—	1,156台	—	—	—
H18年度合計	16台	52台	3台	1,192台	1本	300.0kg	—
H19年度合計	27台	147台	21台	2,449台	30本	8,407.5kg	—
H20年度合計	36台	235台	24台	3,834台	15本	2,703.6kg	—
H21年度合計	40台※①	227台	26台	5,184台	47本	13,321.1kg	2箱
H22年度合計	34台	128台	22台	3,903台	63本	15,402.0kg	10箱
H23年度合計	31台※②	87台	21台	3,657台	33本	9,308.0kg	10箱
H24年度合計	40台※③	156台	34台	5,676台	95本	27,996.7kg	17箱
H25年度合計	43台※④	89台	50台	6,191台	216本	59,601.5kg	23箱
H26年度合計	43台※⑤	53台	60台	6,459台	95本	25,136.5kg	210箱
H27年度合計	28台	19台	60台	7,161台	27本	313.0kg	368箱
H28年度合計	24台	12台	60台	8,076台	105本	5,939.2kg	401箱
H29年度合計	11台※⑥	21台	62台	8,388台	170本	2,287.1kg	456箱
H30年度合計	17台※⑦	47台	64台	6,529台	301本	18,627.4kg	439箱
H31年4月	0台	1台	6台	926台	9本	1,224.1kg	56箱
R元年5月	3台※⑧	0台	8台	384台	33本	4,437.5kg	102箱
R元年6月	0台※⑧	0台	0台	326台	8本	1,197.6kg	28箱
R元年7月	0台	8台	8台	964台	44本	4,394.8kg	80箱
R元年8月	2台	2台	6台	457台	39本	3,487.3kg	62箱
R元年9月	0台※⑧	2台	8台	449台	20本	5,556.5kg	31箱
R元年10月	0台	台	6台	268台	20本	5,487.5kg	40箱
R元年11月	0台	0台	0台	0台	0本	0.0kg	0箱
R元年12月	0台	0台	0台	3台	0本	0.0kg	0箱
R2年1月							
R2年2月							
R2年3月							
R元年度合計	5台	13台	42台	3,777台	173本	25,785.3kg	399箱
操業期間合計	406台	1,328台	549台	73,632台	1,371本	215,129.0kg	2,335箱
試運転含む全受入量	407台	1,333台	557台	74,220台	1,404本	222,459.0kg	2,335箱
※①平成21年度:変圧器解体部品、愛知県内1個は含みません。 ※②平成23年度:変圧器解体部品、静岡県内6個は含みません。 ※③平成24年度:変圧器解体部品、名古屋市内5個、静岡県内6個、三重県内11個は含みません。 ※④平成25年度:変圧器解体部品、浜松市内8個、静岡県内10個、名古屋市内21個は含みません。 ※⑤平成26年度:変圧器解体部品、愛知県内15個、静岡県内10個、岐阜県内9個、名古屋市内3個は含みません。 ※⑥平成29年度:変圧器解体部品、静岡市内2個、浜松市内5個は含みません。 ※⑦平成30年度:変圧器解体部品、浜松市内2個は含みません。 ※⑧令和元年度:変圧器解体部品、名古屋市内33個は含みません。							

### (3) 豊田PCB処理事業区域(東海4県7市)の受入進捗状況について

JESCO登録実績に対する4県7市の受入状況を把握するため、処理施設への受入ベースで数値を集計しています。

(表-3)届出区域別 登録状況 (試運転物を含みます。大型変圧器解体部品は含みません。) ※令和元年12月末現在

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	コンデンサー台数	廃PCB		保管容器
豊田市	291	304	10台	6,627台	17本	25.8kg	332箱
愛知県	2,579	2,738	349台	14,045台	270本	28,147.8kg	428箱
名古屋市	1,543	1,637	410台	9,279台	434本	45,340.3kg	404箱
豊橋市	271	297	3台	1,201台	40本	354.5kg	47箱
岡崎市	199	223	27台	993台	15本	329.6kg	81箱
岐阜県	1,358	1,432	120台	5,079台	41本	3,999.2kg	202箱
岐阜市	307	336	47台	946台	18本	36.6kg	36箱
静岡県	1,770	1,856	116台	9,745台	279本	46,478.8kg	699箱
静岡市	515	564	48台	2,246台	66本	9,475.3kg	46箱
浜松市	525	560	946台	9,884台	130本	27,591.4kg	150箱
三重県	1,161	1,263	375台	13,513台	441本	99,524.5kg	1,009箱
合計:	10,519	11,210	2,451台	73,558台	1,751本	261,303.7kg	3,434箱

(表-4)届出区域別 受入状況 (試運転物を含みます。大型変圧器解体部品は含みません。)

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	コンデンサー台数	廃PCB		保管容器
豊田市	289	302	10台	6,625台	17本	25.8kg	327箱
愛知県	2,448	2,591	318台	13,311台	220本	26,040.9kg	363箱
名古屋市	1,475	1,557	402台	8,692台	378本	44,641.5kg	331箱
豊橋市	258	284	3台	1,108台	27本	2.2kg	30箱
岡崎市	193	217	27台	906台	7本	54.4kg	20箱
岐阜県	1,296	1,367	98台	4,947台	29本	3,592.3kg	171箱
岐阜市	293	322	47台	922台	15本	36.6kg	24箱
静岡県	1,681	1,762	113台	9,319台	227本	45,516.7kg	591箱
静岡市	487	534	48台	1,960台	53本	9,146.8kg	43箱
浜松市	511	546	862台	8,417台	115本	24,070.9kg	149箱
三重県	1,107	1,206	369台	13,004台	316本	69,331.0kg	286箱
合計:	10,038	10,688	2,297台	69,211台	1,404本	222,459.1kg	2,335箱

(表-5)届出区域別 進捗率(「表-4 受入状況」÷「表-3 登録状況」)

区域名称	保管者	事業場	変圧器	コンデンサー	廃PCB		保管容器
豊田市	99.3%	99.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	98.5%
愛知県	94.9%	94.6%	91.1%	94.8%	81.5%	92.5%	84.8%
名古屋市	95.6%	95.1%	98.0%	93.7%	87.1%	98.5%	81.9%
豊橋市	95.2%	95.6%	100.0%	92.3%	67.5%	0.6%	63.8%
岡崎市	97.0%	97.3%	100.0%	91.2%	46.7%	16.5%	24.7%
岐阜県	95.4%	95.5%	81.7%	97.4%	70.7%	89.8%	84.7%
岐阜市	95.4%	95.8%	100.0%	97.5%	83.3%	100.0%	66.7%
静岡県	95.0%	94.9%	97.4%	95.6%	81.4%	97.9%	84.5%
静岡市	94.6%	94.7%	100.0%	87.3%	80.3%	96.5%	93.5%
浜松市	97.3%	97.5%	91.1%	85.2%	88.5%	87.2%	99.3%
三重県	95.3%	95.5%	98.4%	96.2%	71.7%	69.7%	28.3%
合計:	95.4%	95.3%	93.7%	94.1%	80.2%	85.1%	68.0%

(表-6)届出区域別 未搬入状況(「表-3登録状況」-「表-4受入状況」)

区域名称	保管者	事業場	変圧器	コンデンサー	廃PCB		保管容器
豊田市	2	2	0台	2台	0本	0.0kg	5箱
愛知県	131	147	31台	734台	50本	2,106.9kg	65箱
名古屋市	68	80	8台	587台	56本	698.8kg	73箱
豊橋市	13	13	0台	93台	13本	352.3kg	17箱
岡崎市	6	6	0台	87台	8本	275.2kg	61箱
岐阜県	62	65	22台	132台	12本	406.9kg	31箱
岐阜市	14	14	0台	24台	3本	0.0kg	12箱
静岡県	89	94	3台	426台	52本	962.1kg	108箱
静岡市	28	30	0台	286台	13本	328.5kg	3箱
浜松市	14	14	84台	1,467台	15本	3,520.5kg	1箱
三重県	54	57	6台	509台	125本	30,193.5kg	723箱
合計:	481	522	154台	4,347台	※347本	38,844.6kg	1,099箱

※この数には、三重県の多量保管事業者の金属タンク7基が含まれています(容量から推定するとドラム缶で293缶、重量で約68t)。うち3基についてはドラム缶で140缶、(重量38, 0t)に積み替え登録済です。残り4基(重量約30t)については、まだドラム缶に移し替えておらず重量は測量不能なため含まれていません。なお、2019年2月から搬入を開始し、12月末現在、ドラム缶80本(重量21. 8t)を受入し、今後も随時受入していきます。

【参考資料】令和元年6月末時点の受入進捗状況

(表-3)届出区域別 登録状況 (試運転物を含みます。大型変圧器解体部品は含みません。) ※令和元年6月末現在

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	コンデンサー台数	廃PCB		保管容器
豊田市	290	303	10台	6,627台	17本	25.8kg	327箱
愛知県	2,515	2,673	330台	13,915台	254本	28,155.2kg	408箱
名古屋市	1,526	1,619	410台	9,253台	393本	45,389.8kg	395箱
豊橋市	264	291	6台	1,185台	29本	354.2kg	36箱
岡崎市	197	222	27台	991台	10本	323.6kg	74箱
岐阜県	1,332	1,406	114台	5,031台	29本	3,592.3kg	178箱
岐阜市	305	334	47台	943台	15本	36.6kg	35箱
静岡県	1,741	1,827	116台	9,678台	247本	45,988.7kg	697箱
静岡市	498	547	48台	2,201台	54本	9,474.8kg	45箱
浜松市	520	555	950台	9,876台	129本	27,613.4kg	150箱
三重県	1,147	1,248	373台	13,232台	363本	77,365.1kg	968箱
合計:	10,335	11,025	2,431台	72,932台	1,540本	238,319.5kg	3,313箱

(表-4)届出区域別 受入状況 (試運転物を含みます。大型変圧器解体部品は含みません。)

区域名称	保管者数	事業場数	変圧器台数	コンデンサー台数	廃PCB		保管容器
豊田市	289	302	10台	6,625台	17本	25.8kg	327箱
愛知県	2,413	2,553	318台	13,003台	214本	26,040.4kg	321箱
名古屋市	1,455	1,537	398台	8,652台	362本	44,519.8kg	288箱
豊橋市	258	284	3台	1,108台	27本	2.2kg	30箱
岡崎市	192	216	27台	904台	7本	54.4kg	20箱
岐阜県	1,287	1,356	90台	4,598台	28本	3,592.3kg	153箱
岐阜市	290	319	47台	919台	14本	26.5kg	24箱
静岡県	1,641	1,720	113台	9,200台	223本	45,514.4kg	506箱
静岡市	476	523	48台	1,940台	50本	9,146.7kg	42箱
浜松市	505	538	834台	7,810台	101本	22,906.9kg	147箱
三重県	1,103	1,201	367台	12,311台	238本	51,703.5kg	264箱
合計:	9,909	10,549	2,255台	67,070台	1,281本	203,532.9kg	2,122箱

(表-5)届出区域別 進捗率(「表-4 受入状況」÷「表-3 登録状況」)

区域名称	保管者	事業場	変圧器	コンデンサー	廃PCB		保管容器
豊田市	99.7%	99.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
愛知県	95.9%	95.5%	96.4%	93.4%	84.3%	92.5%	78.7%
名古屋市	95.3%	94.9%	97.1%	93.5%	92.1%	98.1%	72.9%
豊橋市	97.7%	97.6%	50.0%	93.5%	93.1%	0.6%	83.3%
岡崎市	97.5%	97.3%	100.0%	91.2%	70.0%	16.8%	27.0%
岐阜県	96.6%	96.4%	78.9%	91.4%	96.6%	100.0%	86.0%
岐阜市	95.1%	95.5%	100.0%	97.5%	93.3%	72.4%	68.6%
静岡県	94.3%	94.1%	97.4%	95.1%	90.3%	99.0%	72.6%
静岡市	95.6%	95.6%	100.0%	88.1%	92.6%	96.5%	93.3%
浜松市	97.1%	96.9%	87.8%	79.1%	78.3%	83.0%	98.0%
三重県	96.2%	96.2%	98.4%	93.0%	65.6%	66.8%	27.3%
合計:	95.9%	95.7%	92.8%	92.0%	83.2%	85.4%	64.1%

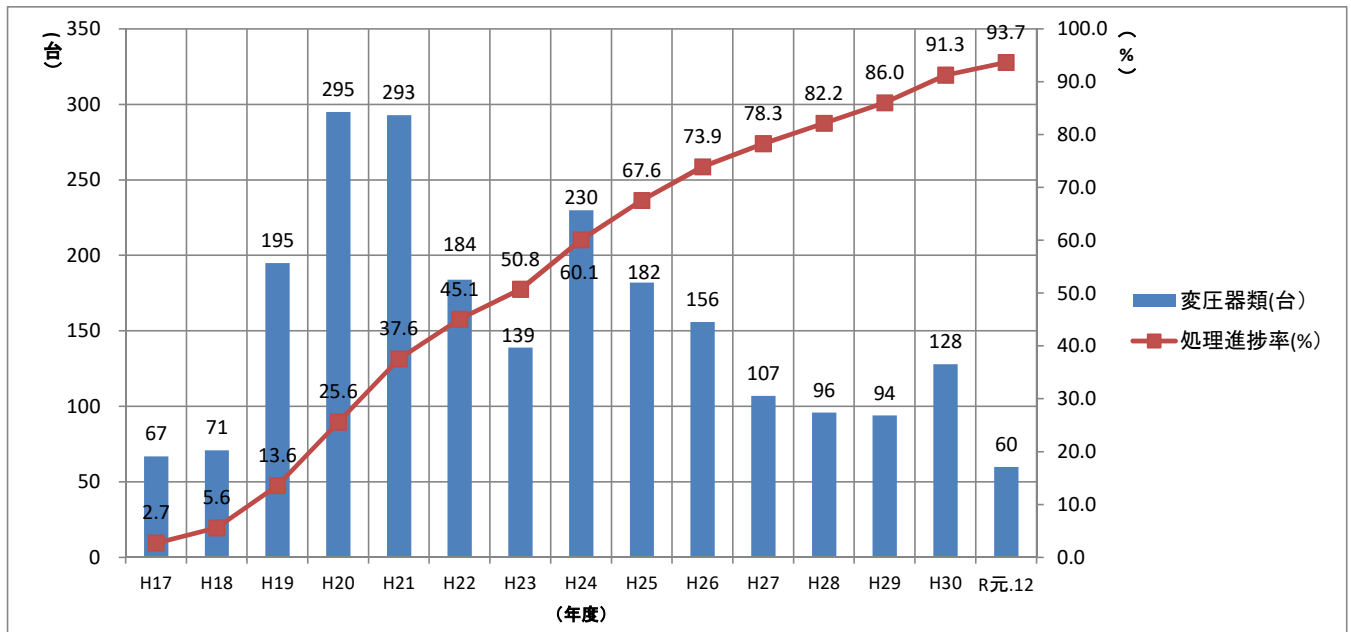
(表-6)届出区域別 未搬入状況(「表-3登録状況」-「表-4受入状況」)

区域名称	保管者	事業場	変圧器	コンデンサー	廃PCB		保管容器
豊田市	1	1	0台	2台	0本	0.0kg	0箱
愛知県	102	120	12台	912台	40本	2,114.8kg	87箱
名古屋市	71	82	12台	601台	31本	870.0kg	107箱
豊橋市	6	7	3台	77台	2本	352.0kg	6箱
岡崎市	5	6	0台	87台	3本	269.2kg	54箱
岐阜県	45	50	24台	433台	1本	0.0kg	25箱
岐阜市	15	15	0台	24台	1本	10.1kg	11箱
静岡県	100	107	3台	478台	24本	474.4kg	191箱
静岡市	22	24	0台	261台	4本	328.1kg	3箱
浜松市	15	17	116台	2,066台	28本	4,706.5kg	3箱
三重県	44	47	6台	921台	125本	25,661.6kg	704箱
合計:	426	476	176台	5,862台	※259本	34,786.6kg	1,191箱

※この数には、三重県の多量保管事業者の金属タンク7基が含まれています。ただし、重量は測量不能なため含まれていません。なお、金属タンクのままでは豊田PCB処理事業所へ搬入できないため、ドラム缶に詰め直す必要があり、容量から推定するとドラム缶で293缶、重量で68tが見込まれています。なお、本年2月から搬入を開始し、6月末現在、ドラム缶16本(重量4.3t)を受入し、今後も随時受入していきます。

(グラフー1) 東海4県内のPCB廃棄物処理進捗状況(令和元年度12月末)

【変圧器類】 受入ベース

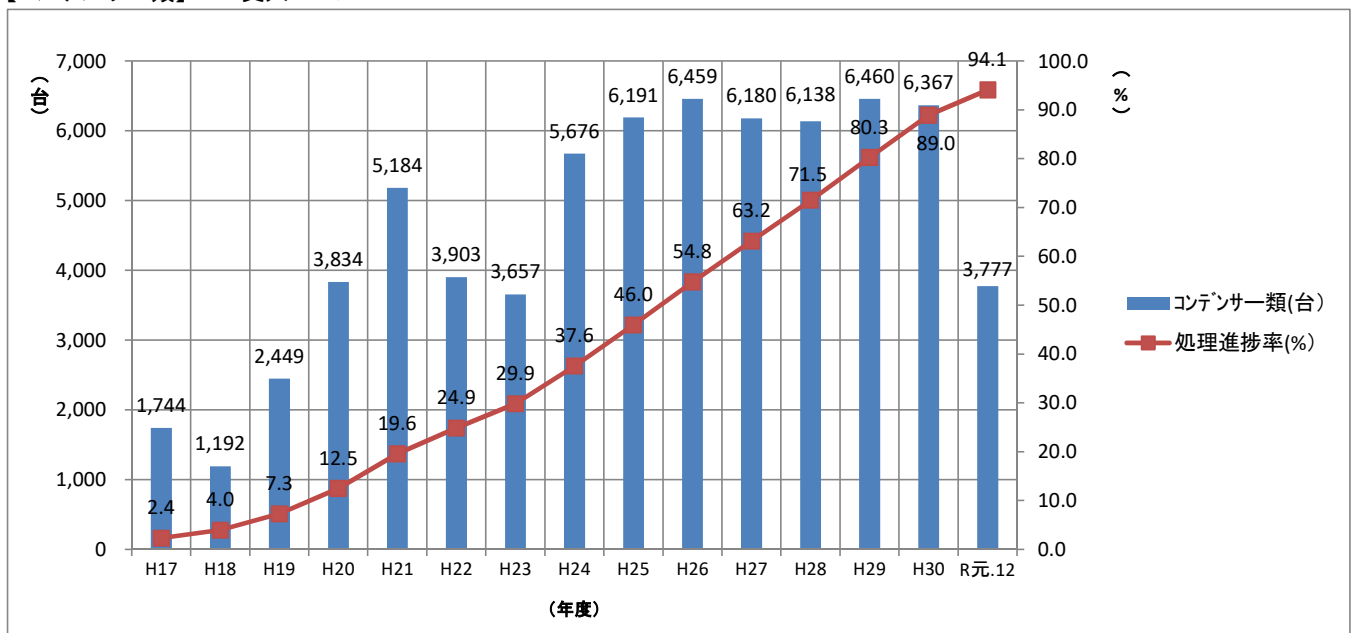


年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元.12	合計
変圧器類(台)	67	71	195	295	293	184	139	230	182	156	107	96	94	128	60	2,297
処理進捗率(%)	2.7	5.6	13.6	25.6	37.6	45.1	50.8	60.1	67.6	73.9	78.3	82.2	86.0	91.3	93.7	

※登録量(分母): 令和元年度12月末までのJESCO登録量=2,451台(地域間移動の車載変圧器は除く。)

※実績量には、地域間移動の車載変圧器は除く。

【コンデンサー類】 受入ベース



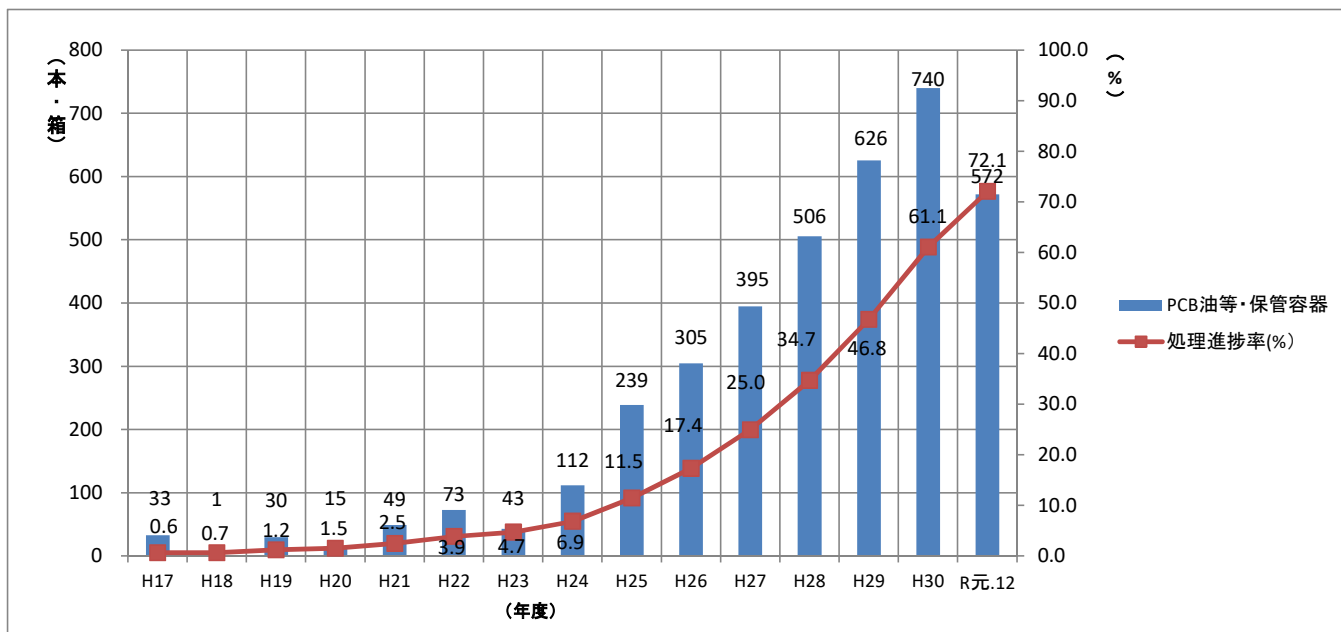
年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元.12	合計
コンデンサー類(台)	1,744	1,192	2,449	3,834	5,184	3,903	3,657	5,676	6,191	6,459	6,180	6,138	6,460	6,367	3,777	69,211
処理進捗率(%)	2.4	4.0	7.3	12.5	19.6	24.9	29.9	37.6	46.0	54.8	63.2	71.5	80.3	89.0	94.1	

※登録量(分母): 令和元年度12月末までのJESCO登録量=73,558台(地域間移動の炭化コンデンサーは除く。)

※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサーは除く。

※大阪事業からのPPコンデンサーは除く。

【PCB油等及び保管容器】受入ベース



年度	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元.12	合計
PCB油等・保管容器	33	1	30	15	49	73	43	112	239	305	395	506	626	740	572	3,739
処理進捗率(%)	0.6	0.7	1.2	1.5	2.5	3.9	4.7	6.9	11.5	17.4	25.0	34.7	46.8	61.1	72.1	

※PCB油類には、保管容器を含む。

※登録量(分母): 令和元年度12月末までのJESCO登録量=5,185本・箱(地域間移動の炭化コンデンサーの保管容器は除く。)

※実績量には、地域間移動量の炭化コンデンサーの保管容器は除く。



## 2 周辺環境への影響の状況

(表-1) 排出源モニタリング

操業開始から令和元年12月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)		平成31年	令和元年		管理目標値等	単位
				4月	7月	10月		
排気	PCB	1~4系	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.01	mg/m <sup>3</sup> N
		5系	0.001未満	0.001未満	0.001未満			
		6系	0.001未満	0.001未満	0.001未満			
	ダイオキシン類	1~4系	26(H18.10)	0.026	0.039	0.031	100	pg-TEQ/m <sup>3</sup> N
		5系	0.052(H18.9)	0.011	0.011	0.014		
		6系	0.058(H18.10)	0.000093	0.000078	0.000072		
ベンゼン	1~4系	2.2(H22.10)	0.5未満	0.5未満	0.5未満	50	mg/m <sup>3</sup> N	
	3-2系	71(H19.1)	0.5未満	0.5未満	0.5未満			
排水 (放流口)	PCB	0.0005未満		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	mg/L
	ダイオキシン類	0.13(H19.2)		0.0088	0.0069	0.011	5	pg-TEQ/L
騒音	騒音レベル	昼間	69(H19.1)	—	—	—	70	dB(A)
		夜間	68(H19.1)	—	—	—	65	
振動	振動レベル	昼間	49(H21.1)	—	—	—	65	dB
		夜間	50(H31.1)	—	—	—	65	
悪臭	アセトアルデヒド	0.039(H20.10)		—	—	0.006	0.05	ppm
	トルエン	0.9未満		—	—	0.9未満	10	ppm
	キシレン	0.1(H18.9)		—	—	0.1未満	1	ppm

(表-2) 周辺環境モニタリング

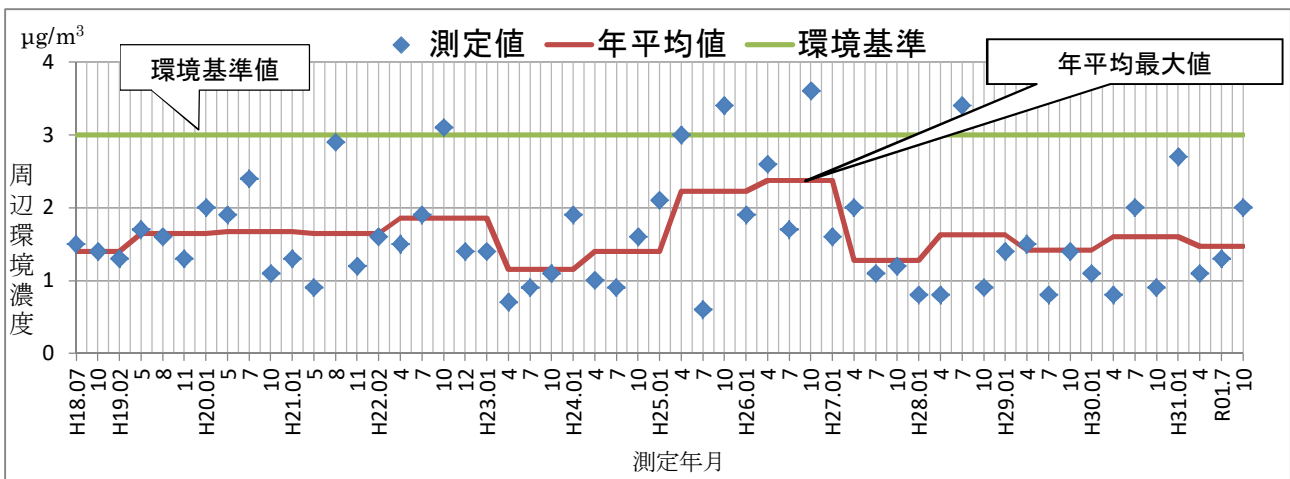
操業開始から令和元年12月末現在

要素	調査項目	これまでの最大値 (カッコ内は測定年月)		平成31年	令和元年		環境基準値等	単位
				4月	7月	10月		
大気	PCB	0.0082(H29.7)		0.0017	0.0026	0.00069	年平均0.5 (注1)	μg/m <sup>3</sup>
	ダイオキシン類	0.057(H20.1)		0.021	0.023	0.020	年平均0.6 (注2)	pg-TEQ/m <sup>3</sup>
	ベンゼン	年平均0.0024(H26年度)		0.0011	0.0013	0.0020	年平均 0.003(注2)	mg/m <sup>3</sup>
土壌	PCB	0.0005未満		—	—	0.0005未満	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	1.5(H23.10)		—	—	1.3	1000	pg-TEQ/g
地下水	PCB	0.0005未満		0.0005未満	—	0.0005未満	検出されないこと (0.0005未満)	mg/L
	ダイオキシン類	0.075(H19.2)		0.039	—	0.040	1.0	pg-TEQ/L

(注1) 評価基準値「PCB等を焼却処分する場合における排ガス中のPCBの暫定排出許容限界について」(昭和47年12月22日付 環境庁大気保全局長通達)で示される環境中のPCB濃度。

(注2) ダイオキシン類及びベンゼンの大気環境基準は、豊田施設の存在する工業専用地域には適用されません。

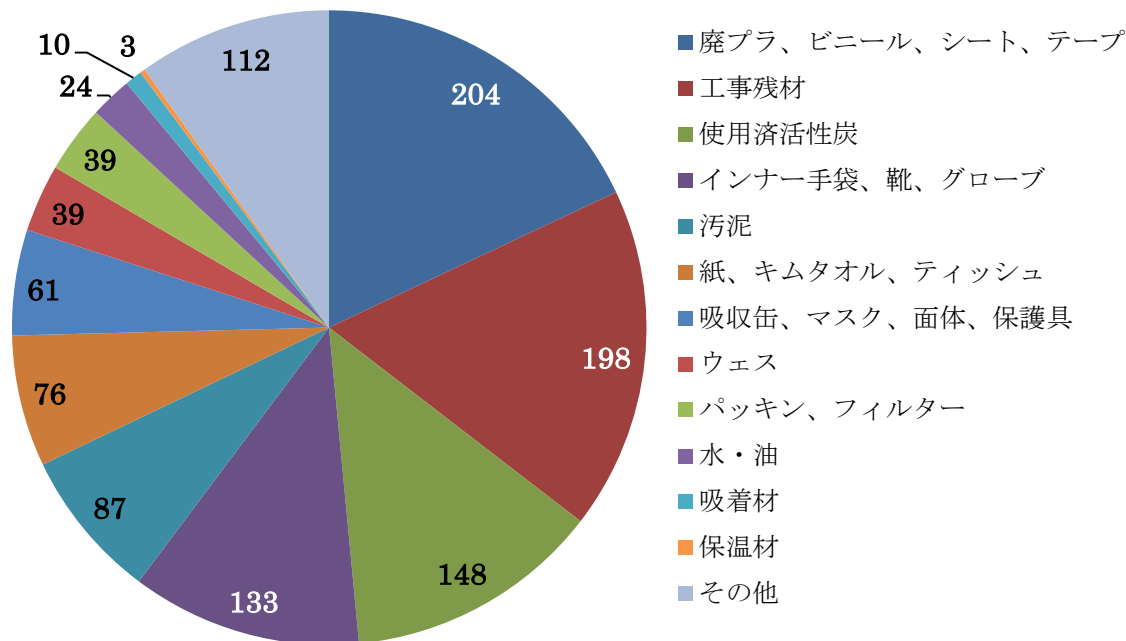
<参考> 周辺環境中のベンゼン濃度の推移



### 3 運転廃棄物の保管及び処理の状況

#### (1) 運転廃棄物入りドラム缶の保管状況(令和元年12月末)

合計 1,134 本 (内訳は下図の通り)

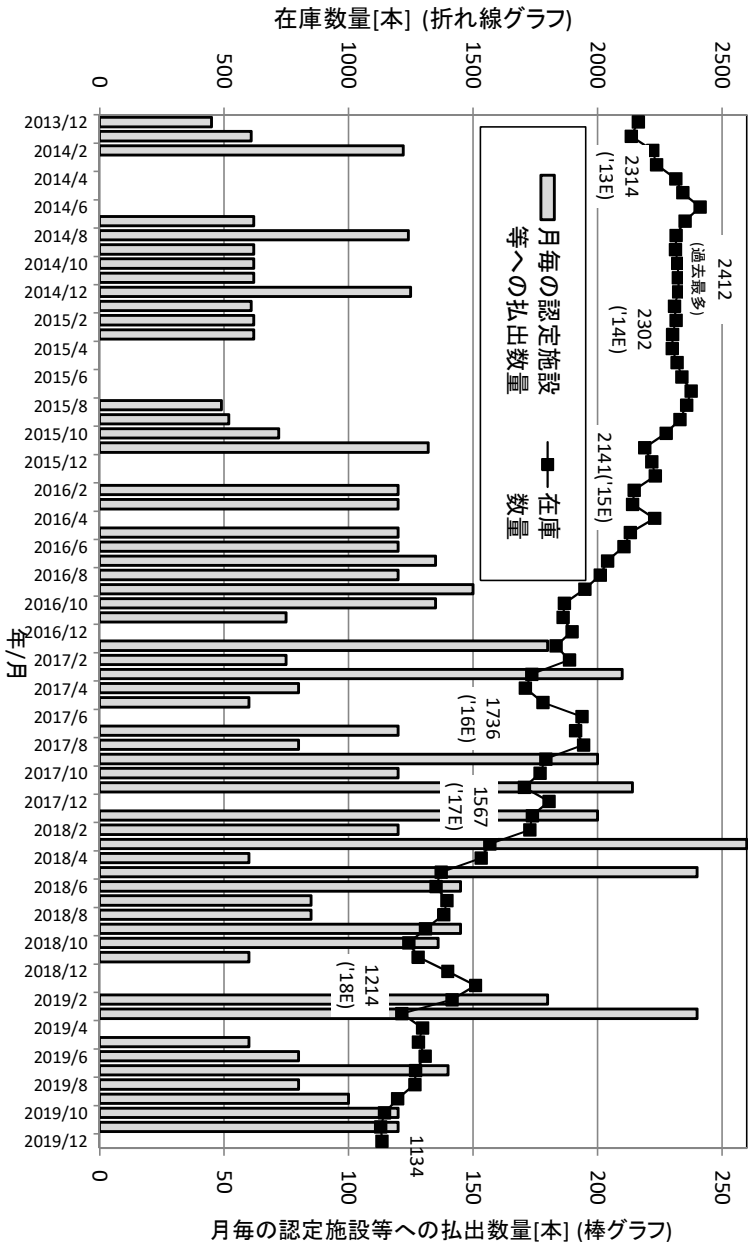


#### (2) 運転廃棄物の所内処理及び外部処理の実績(令和元年12月末)

年度	事業所内処理			北九州事業 所処理委託	外部処理(ドラム缶数)	
	防護服	ポリ袋	廃油	高濃度品 (注1)	実証試験	無害化認定業者処理 委託(低濃度品(注1))
H23年度	14,400着	640kg	2,643L	—	—	—
H24年度	15,750着	700kg	1,743L	—	108本	—
H25年度	18,000着	549kg	373L	—	74本+約 204本相当	306本+約62本相当
H26年度	17,325着	666kg	526L	—	0	550本+約153本相当
H27年度	18,000着	684kg	1,212L	24本	—	508本
H28年度	15,000着	540kg	584L	120本	—	1,200本
H29年度	19,250着	875kg	271L	100本	—	1,354本
H30年度	12,850着	711kg	777L	100本	—	1,279本
R元年度	9,150着	690kg	141L	100本	—	600本

(注1) 高濃度品：PCB含有量 5,000mg/kg超、低濃度品：PCB含有量 5,000mg/kg以下

豊田事業所 運転廃棄物ドラム缶在庫数量の推移 (2013/12～2019/12)



## 4 収集運搬について

前回の監視委員会以降、令和2年1月末までに発生した収集運搬及び保管時に伴う漏洩等は以下の通りです。

### (1) 収集運搬機器からの漏洩について

豊田PCB処理事業所に受け入れを行なった際に確認された漏洩事例は発生しておりません。

### (2) 保管中機器からの漏洩について

豊田PCB処理事業所で搬入後保管中に保管庫内にて漏洩が確認された事例は発生しておりません。

### (3) 収集運搬における指導事例について

豊田PCB処理事業所に搬入した収集運搬事業者に対し文書指導した事例が1件ありました。

発 生 日	発 生 概 況	状 況
1月16日	受入基準に違反した搬入	<p>PCB油の入ったドラム缶2缶を、受入基準に違反して漏れ防止型金属トレイで搬入された。PCB油の入ったドラム缶は、密閉できる運搬容器（漏れ防止型金属容器、又は、液漏れ機器用漏れ防止型金属容器）に入れて搬入することが豊田PCB処理施設の受入基準に定められている。</p> <p>同時に搬入する予定だった大型変圧器の運搬容器が、液漏れ機器用漏れ防止型金属容器から漏れ防止型金属トレイに変更された際、PCB油の入ったドラム缶も同時に搬入してしまったものです。</p> <p>なお、国が定めた「PCB廃棄物収集・運搬ガイドライン」では、PCB油の入ったドラム缶を密閉できる運搬容器に入れることなく運搬することが認められており、周辺環境に影響を及ぼしたものではありません。</p>

## 5 地域とのコミュニケーションについて

地域の皆様へは、JESCOホームページを始め、事業だよりや施設見学等を通じて、積極的な情報公開に努めており、その実績は以下のとおりです。

### (1) 施設見学について

#### ①見学の実績

※令和元年度は、12月末日現在

	市民関係		行政関係		企業関係		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
H28年度	6	111	11	56	30	100	47	267
H29年度	4	54	7	43	25	104	36	201
H30年度	4	38	13	100	10	31	27	169
R元年度	0	0	7	111	10	23	17	134

#### ②見学に関するアンケートの集計結果(平成28年4月～令和元年12月まで、見学者771名)

質問1	説明は、わかりやすかったですか？ (回答671人)		
	①わかりやすかった	②普通	③わかりにくかった
	90% (604人)	10% (66人)	0% (1人)
質問2	説明者の対応はいかがでしたか？ (回答671人)		
	①良い	②普通	③良くない
	93% (622人)	7% (45人)	1% (4人)
質問3	本日の見学会は、参考になる内容でしたか？ (回答671人)		
	①参考になる	②わからない	③参考にならない
	96% (645人)	4% (25人)	0% (1人)

### (2) 関係自治体への情報提供

#### ①年末年始の挨拶

施設周辺及び逢妻男川流域の19自治体を訪問し、年末年始の挨拶と事業の進捗状況等を説明しました。

- ・平成30年度 1月に19自治体を訪問しました。
- ・令和 元年度 1月に19自治体を訪問しました。

#### ②新任自治体長への挨拶

新たに区長に就任された自治体を訪問し、年度始めの挨拶と事業概要等を説明しました。

- ・平成30年度 4～5月に11自治体を訪問しました。
- ・令和 元年度 新所長の着任により、5月に19自治体を訪問しました。

### (3) JESCO地域協議会(平成25年度設置)

- ・目的：施設周辺自治体への情報発信と意見交換を行い、リスクコミュニケーションの推進を図ります。
- ・構成：事業所立地及び近隣の7自治体  
(樹木、三軒屋、広久手町、広久手、本地新田、深田山、土橋の各自治体)
- ・平成30年度 9月18日に開催しました。
- ・令和 元年度 9月10日に開催しました。

### (4) 豊田PCB廃棄物処理事業だよりの発行(毎月1回)

- ・平成30年度  
4月6日の168号から3月7日の179号まで、1年間に12回発行しました。
- ・令和 元年度  
4月8日の180号から2月6日の190号まで、毎月1回発行しています。

## 6 トラブルについて

前回の監視委員会から、令和元年度12月末までの間、労働災害及び漏洩等に伴うトラブルは以下の通り発生していません。

### (1) 労働災害

平成30年4月8日の自転車での転倒災害を最後に休業災害は発生していません。

### (2) 漏洩等

平成30年11月22日のダイヤフラム弁からの漏洩を最後に漏洩等のトラブルは発生していません。